

安全と環境を考えるニシオの広報誌

2000

Vol-1

43

安全くん

「厳しい冬も、温もりのある」



「チームワークでご安全に！」
の巻

インターネットホームページ「安全くんネット」のURLが変わりました。
恐れ入りますが、今後は、下記へアクセスしてください。
<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それ行け!! 安全くん

画 中村よしのぶ

連載 その43



「厳しい冬も、温もりのある チームワークでご安全に！」の巻

ガンさんの家
座敷にて

いや、
こうやって
全員集まるのも
久しぶりだな

おっ

年末
安全くんたちの
メンバーはそれぞれ
他のチームに分かれ
作業に従事
その工事も一段落して
正月を迎えた
ある日

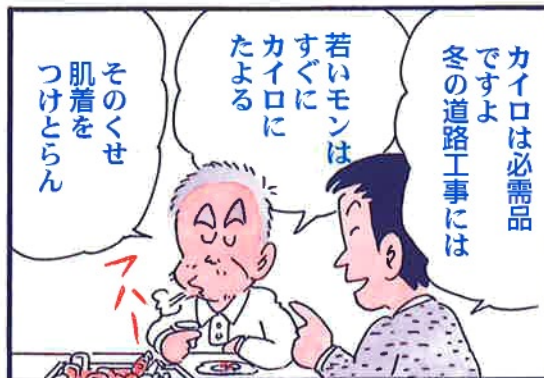


それがまだ
はつきり
決まって
いない
んだ

アチチ
……

次の現場では
また一緒に
できるん
ですか？

年末は
バラバラに
配属された
からね



解説コーナー

防寒対策の落とし穴

「ついつい、ちょっとのことが…」

①頭痛・顔面・手足の防寒も大切に! 防寒帽・マスク・耳当て・ゴーグルの使用を!

- ・手足や顔を冷風にさらすと、防寒服を着ていても反射的に血圧が上昇します。
- ・寒冷気を吸い込むと呼吸器系に炎症を起こしやすい。(ぜん息・気管支炎・狭心症を誘発)

②普通の軍手や安全靴は役に立たない?…保温性能を保証された防寒手袋、防寒靴を!

- ・一般的なもの、保温力が弱く、素手・素足と同じ状態になるものも多い。
- ・降雪・降雨時のことも考え、防寒だけでなく防水性も高いものがよい。

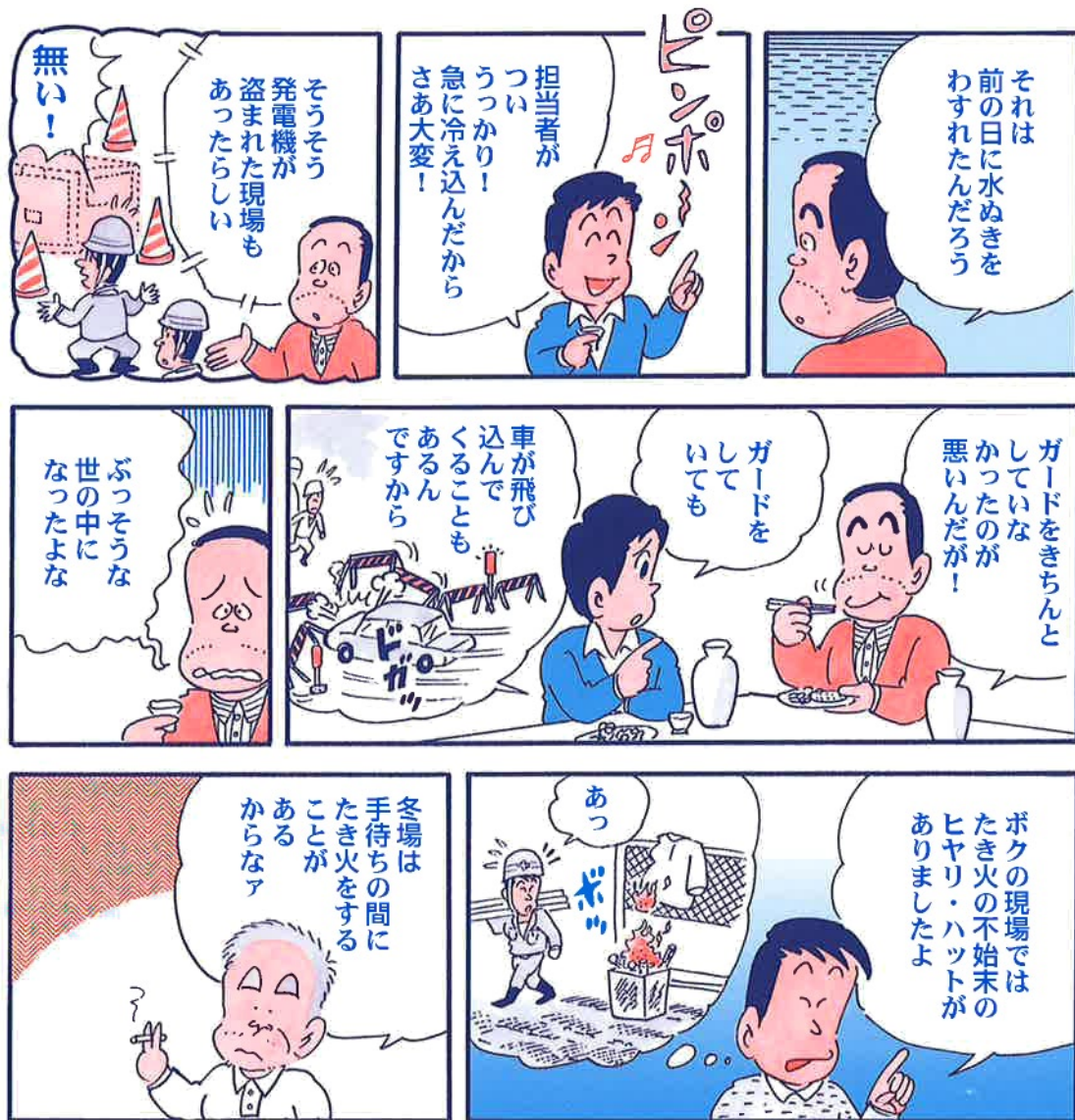
③寒いからこそ「汗」が大敵!…衣服の調節を。汗をかけば乾いた衣服に着替える。

- ・汗が衣服にしみこみ、冷えて保温力が低下し体温を奪うことが怖い。
- ・作業内容と保温力がマッチしていないと、寒いのに発汗することがある。

④休憩時の採暖は十分か?…休憩・採暖するときは、完全に寒気を取り除くまで十分に!

- ・少しづつの採暖は、逆に寒さへの適応力を下げ、深部体温の低下が進む。
- ・採暖は、汗が出ない程度で、体の深部の寒気・不快感を取り除くまで。





解説コーナー

道路除雪作業の事故事例～機械による除雪～

①構造物と接触

排雪板やカッティングエッジが橋梁の伸縮継手やマンホールに引っかかり、急停止して運転手や助手が胸や頭部を強打する事故が発生しています。段差・路肩等を確認し、運転手・助手にもシートベルトの使用を徹底のこと。

②除雪機械の転倒

道路の側面が傾斜している箇所では、雪が道路に堆積しているケースが多く、路肩の識別が困難になる箇所においても同様に、機械が横滑りして転落する事故が発生しやすいのでご注意ください。堆積した雪を除去し雪崩の危険を除いてから作業に入ることや、誘導員を配置して監視しながら作業すること。さらに、機体が常に山側に傾斜して作業するよう心がけてください。（※誘導員には識別しやすいオレンジ色などの服装に、路肩標識・警笛・合図の器具を持たせること）

③その他

エンジンを切らずに、シュートやロータリーに詰まった雪を取り除こうとして指先を切断したり、夜間や早朝時に凍結した機械から滑り落ちる事故も発生しています。点検時には、作業装置を降ろし、エンジンを止めブレーキを掛けること。機械前部には、人を近づけないこと。凍結時には、機械の乗り降りや路肩の状況をよく確認すること。



ガンさんのワンポイントレッスン

「厳寒期の重機メンテナンスについて」

エンジンの構造上、どうしても水分が発生しやすい箇所があり、これが凍結することでトラブルとなったり、ポンプなどで水を抜かずに一夜明けると「凍結し割れていた」ということもあり、気温の変化とともに作業手順や点検箇所の見直しが必要となります。

①不凍液（LLC）オールシーズン

- 適切な処理をしておかないと冷却水が凍結し、エンジン・ラジエータを破損します。
- 不凍液の量は、地域の最低気温やラジエータの容量により異なります。説明書に従い入れてください。



②燃料タンクの水抜き

- 燃料計ではまだ残量があるのに…？極端に冷え込んだ朝に燃料タンク内の水分が氷結し、パイプを詰まらせることがあります。水抜きをこまめに行うことや終業時に満タンにして空気が残らないようにするのも効果があります。

③エンジンオイル

- 冬季用のオイルを用意してください。始動時、エンジンが重い感じがやかりにくいことがあります。

④作業終了時には…

- 直接に北風や雪にさらされないように、また朝日を浴びやすいように南向きにして駐車するかシートをかぶせておくと凍結しにくくなります。

⑤その他

- タイヤについてもタイヤチェーン、スノータイヤを用意しておくこと。
- バッテリーもあがりやすいので、こまめに状況のチェックを。（容量の大きいものの方が良い）
- 散水車、ローラなどポンプが付属している機械の水抜きを。
- 厳寒期の前に予熱系統も点検しておくこと。

それに
タバコの
不始末も
あったん
ですよ
乾燥注意
報が
出ていた
日なの
に

ま
いろ
いろ
聞い
てい
ると
比
べる
のも
何だ
が
われ
われ
のチ
ーム
の安
全意
識は
高い
よな

お前
は
何
度
注
意
し
て
も
旋
回
内
に
入
っ
て
く
る
だ
ろ
う
!

それ
は
い
つ
も
し
つ
か
り
注
意
を
し
合
っ
て
い
る
か
ら
で
す
よ

注
意
と
い
う
か
あ
げ
足
と
り
と
い
う
か
……



危険の芽、荷崩れ・偏荷重・車輪巻き込まれ! ~運搬台車使用上のご注意~

資材の運搬作業によく使われる台車ですが、その使用を誤れば重大災害を招くことがあります。本体はフレームにキャスターを付けたシンプルな構造ですが、偏った荷の積載やカーブを曲がる際には次のような危険があるので注意してください。

■積み荷作業はバランスよく<事故事例より>

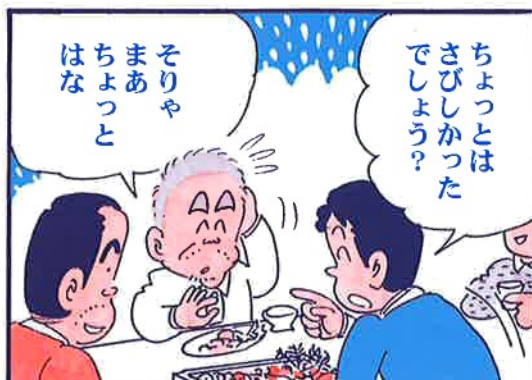
現場で配管資材を運搬する際、結束された鋼管をクレーンで台車へ吊り降ろし積み込み中、2束目を積んだところ、荷崩れ防止用のパイプサポートによりかかるように偏荷重がかかり、サポートが折れて荷崩れを起こした。<対策>積み荷は台車床面へ均等に積み込んでください。

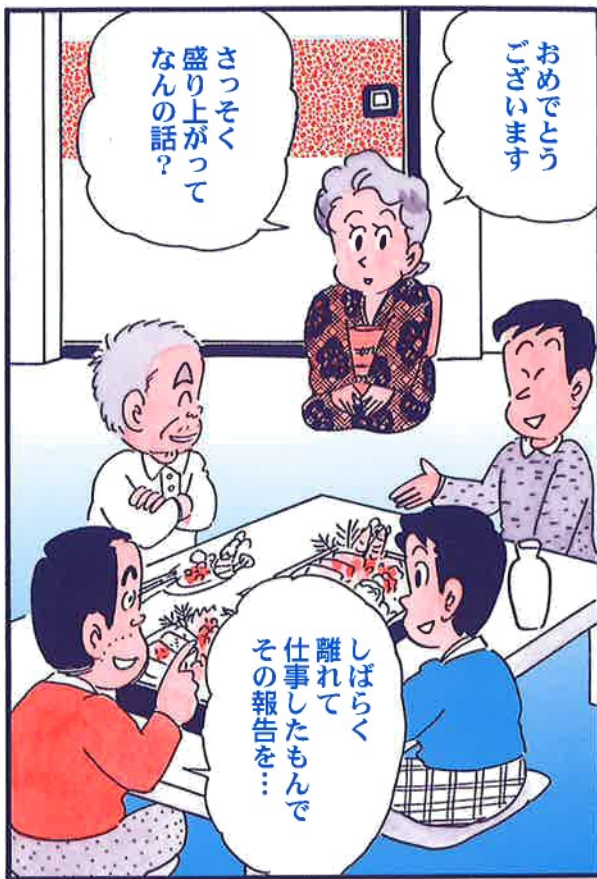
■移動時は車輪巻き込まれに注意!

台車は自在のキャスター付きです。重量物を積載しての移動は、コーナーで曲がる際、車輪が台車の外側に寄せる動きをし、作業者の足に乗り上げ負傷する恐れがあるので注意しましょう。また、下り坂や斜面で荷を載せての手押し移動は、転倒の恐れがあるので避けてください。



●台車 (N-1200)





メンテ不良はトラブルの元! ~温風ヒーター取り扱い上のご注意~

温風スポットヒーターや石油ヒーター機器は、日頃のメンテナンスを怠ると、その機能を十分に発揮できません。また、作業用テント内や屋内での使用は換気を十分にに行い、酸欠防止を心がけてください。

■黒煙は、トラブルの兆し!

灯油を使用するヒーター類のトラブルの大半は、燃料系が原因です。不調の兆しは、排気煙から判断できます。黒煙の場合、燃料・エアフィルターの詰まりが原因。フィルターの清掃・交換をしましょう。また、灯油に水が少量混じると燃焼時白煙が出ますが故障ではありません。ヒューズ切れによる燃料給油・着火不良もあるので確認をしてください。

■振動・斜面は要注意!

ほとんどの機種は安全装置付きです。作業場近くで破碎等振動を伴う工事がされているときは、安全装置が作動し自動消火します。また、傾斜地でも同様に使用できないので平坦で堅固な場所へ移動して使用してください。

☆冬場は空気が乾燥し火災が起きやすい時期です。付近に可燃物を置かないようにしましょう。



